

代長様に来てもらい、皆でご神体に2礼2拍手1礼をして出発しました。御神体は六年生が持ち、太鼓をたたきながら歩きます。児童全員で天神様の歌を歌いながら代田区内を回りました。さい銭箱にはたくさんの方の皆様の御祝儀をいただきました。ありがとうございます。

代田公民館まで帰ってきて、当番や役員のお母さん方が作ってくれた昼食をいただきます。昼食会には区の役員の皆様や、来年度入学する十二人の子供達も招待しました。区長様には、天神様の由来を話していただき、皆でご神体にお参りしました。地区長のあいさつで昼食をいただきました。

昼食会のあとは、新年会という事でゲームなどをしました。ビンゴやフルーツバスケットで盛り上がった後は、朝清掃に参加してくれた高学年の子供達には役員からご褒美を配りました。最後に子供達におやつを配って解散となりました。

伝統的な行事であり、これからもずっと続けてほしいと思います。

おもしろ科学教室

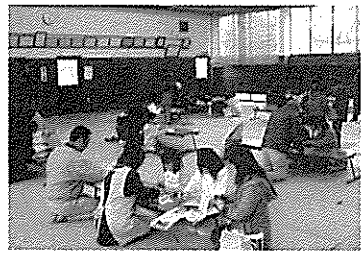
日光写真を撮ろう

おもしろ科学教室「日光写真を撮ろう」に親子三人で参加させて頂きました。理系が苦手の私にとって「今日は何するの」という子供の問いに対して事前の研修会での見本を見せて「こういうものを作るんだよ。とにかくやってみよう」という返事くらいしかできませんでした。

当日は雪まじりの寒い、あいにくの天気でしたが、小さな子供から御年配の方まで多勢の皆様が御参加いただきました。

最初に説明を受けながら、絵を描くOHPシートを張りつける型紙を作製した後、各自思い思いの絵や文字をシートに描きます。その後シートに感光紙をはさんで日光にかざします。くもり具合を考慮して、光にかざす時間を調整しながら写しこみます。最後に火傷に注意してアイロンを当てると絵や文字がくつきりと浮かびあがり皆さん大喜びです。普段は市販のゲーム機やおもちゃで遊んでいる子供たちにとって、この体験はとても楽しく目をキラキラと輝かせ作品づくりに没頭して、二時間という時間がたちまちのうちに過ぎてしまいました。

最後に、この様な貴重な企画に御尽力いただきました、松尾サイエンスクラブのスタッフの皆様及び関係者の皆様に感謝申し上げます。



松尾育成会便り

平成21年度
第 22 号
松尾青少年健全育成会
広報部

和太鼓教室

太鼓はスポーツであり、音楽でもある。

大谷 榮造

クラブ・教室だより

「お願いしまーす。」稽古場とする体育館に元氣よく子供が入ってきます。太鼓置場から太鼓を出し、脚を組みたて、太鼓をセット。準備が出来たら先ず基本稽古、右手でドーン、左手でドーン、腕を大きく振って打ち、右手でドーンドーン！左手でドーンドーン！二打ち、両手でドロ、ロール、打ち手の気持ちだんだん太鼓ののびて来る。

腕だけでなく全身を使って力いっぱい太鼓を打つ。額に汗がにじんで来る。

そして仲間と打つ太鼓の音が一つになった時、心が楽しく愉快になる。

「太鼓はスポーツであり、音楽でもある」ゆえんです。



「りんごん／ふれあい広場」では笑顔がはじけ楽しく打てました子供A談「松尾地区成人式」では大勢の新人を前に少し緊張(子供B談)しながらも新成人を祝う真剣な姿に大きな拍手をいただきました。

稽古のできる環境を造つてくれる親、地域の人々に感謝、共に打つ仲間と強調する心を育てたい、そんな「和太鼓教室」です。



松尾少年野球教室

頑張れ野球少年

保護者会長 恩田 完仁

松尾少年野球教室は、高橋監督のもと二年生から六年生まで総勢六十五名という大所帯で活動しています。週末の練習に加え飯田下伊那のそれぞれの大会に出場したり、五年生以下はグラウンドボーイなども体験する事が出来ました。

今年度は、雨やインフルエンザの影響から、幾つかの大会が中止となり残念でしたが、六年生は十五大会に出場し優勝三回準優勝二回。五年生も六大会に出場し準優勝一回と日頃の厳しい練習の成果が表われ、親子共々喜び合い貴重な体験をする事が出来ました。

しかし、子供達はもう来年度に向けて始動しています。土日の朝寒い中ではありますが今年度の成績に負けないようにと基礎体力から鍛え直し、基本に忠実に元氣よく頑張っています。

「近い将来、松尾から甲子園に行くような選手が出て来るかもしれません？いや!!絶対に出て来ます。」

今後、松尾少年野球が益々活躍できま〜すよう引き続き地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



日光写真をとろう

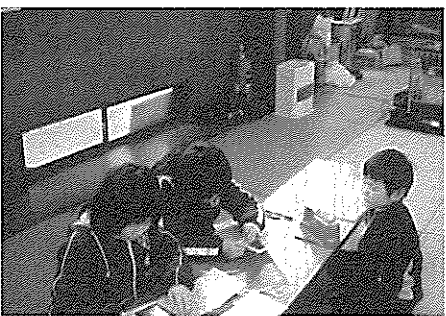
五年 平栗 美樹

私は日光写真をとるのが初めてだったので、出来上がりがとても楽しかったです。

日光写真はかいた絵を日光に当てて紙に写すので、絵に日光を当てる所を全体がきれいに写るように気を付けました。今日は天気が曇りだったのできちんと全体に当てるようにしました。この時間はどんな絵になるか、とても待ちどおしい時間でした。

最後、紙にアイロンをかけたらしきれいに絵が出たのでとてもうれしくなりました。

初めて日光写真をとったけれど、楽しくて四枚もとれたので良かったです。



活動をふりかえり

松尾育成会副会長 大野 清



二年間区より 防災防犯の役員として育成会の

大変お世話になりました。

毎年四月のスポーツクラブ等の結団式に始まり六月の中溝川の水中生物ではカエル・ドジョウ・ヤゴ・カニなどの生物が捕れ、子供達の嬉しそうな笑顔が忘れられません。又ヨシノボリとヤツメウナギと珍しい生物に接した子供達は驚きの連続でした。水中生物採取後に子供達の為に中溝川五ヶ所に階段を作っていたいただきありがとうございます。月二回のあいさつ運動。月一回の学童見守隊に子供達からあいさつしてくれてありがたいことだと思っています。

二年間未熟者な私に対して御協力していただきありがとうございます。

幽霊の絵の教え

緑ヶ丘中学校長 高坂敏昭



日本各地に「幽霊の絵」といわれるものがあります。それらの絵には二つの特徴があるといわれます。両手をだらりと前に出し、髪の毛を後ろのほうに長く引いていて、両足がないというこの三つの特徴です。

この特徴にはそれぞれ深い意味があるといわれます。長い髪を後ろに引きずっているのは、もう済んでしまつてどうにもならないことを、「ああすればよかった」「こうすればよかった」といつまでもくよくよと引きずり続けている姿を表しています。また、両手を前に出している姿は、これから来る未来を心配して、「こうなつたらどうしよう」「ああなつたらどうしよう」と、取り越し苦労ばかりをしている姿です。そして、両足がない姿というのは、足が地面に着いて

ちゃんと立っていないことから自分の心があつちのことを考えたりこつちのことを考えたりと、一つのところに定まらない様子を表しています。

過ぎ去つてどうにもならないことを追つてみても仕方ありません。反対にこれから訪れる未来のことを心配しても仕方ありません。過去も未来も、今を一生懸命生きてこそ輝いてくるものです。「今日の一日は自分の一生」。そんな気持ちで一日一日を大切に生活したいものです。

育成会一年を振り返って

松尾育成会副会長 小林博和



育成会って何？ というレベルからの始まりでしたが、副会長兼行事部長という大役をおおせつかり、早いもので一年が終わろうとしています。

行事部の事業としては、六月に久井地区在住の北城節雄先生

を講師に迎え、中溝川にて水中生物の採集・梅花藻の観察・顕微鏡による観察を行いました。大変多くの子供達の参加があり、楽しそうに水中生物を採集している姿を見てこちらまでうれしくなりました。七月に高齢者との交流「マレットゴルフであそぼう」十一月に「ニュースポーツを楽しもう」を計画しましたが雨天と新型インフルエンザにより中止となりました。二月には松尾地区文化祭の「おもしろ科学教室」において、おもしろ科学工房代表の三浦さん・松尾サイエンススクールの協力により「日光写真を撮ろう」を行いました。参加者の心配をしていましたが、大人も含め多くの子供達が参加し大変盛り上がりました。

行事部の事業以外にも松尾少年スポーツクラブ等結団式・松尾地区功労者表彰式並びに官公署等職員歓迎会・社会を明るくする運動公開ケース研究会等があり、大変勉強をさせていただいた一年だったと思います。

行事部の事業以外にも松尾少年スポーツクラブ等結団式・松尾地区功労者表彰式並びに官公署等職員歓迎会・社会を明るくする運動公開ケース研究会等があり、大変勉強をさせていただいた一年だったと思います。

地区だより

城地区

自然の中で

支部長 熊谷洋平

六月に行われた『松尾の川の中生物をつかまよう』に、子供と一緒に参加しましたが、子供はとても楽しそうに生物を捕まえていました。

後から子供にどこが良かったのかと聞くと、今まで川で思いつきり生き物を探したり植物を探った事がなかったからだと言っていました。捕ってきた生き物を虫めがねや、家にはない顕微鏡で観察したり講師の先生に生き物の名前を教えてもらえたりした事も子供にとつてとてもいい経験が出来た事です。「また川へ行って生き物を探したい。」と言っていました。

子供にも自分の小さい頃に楽しかった自然の中で遊ぶことをしてもらいたいと思えますが、今は川で遊ぶと危ないからと、

毛賀地区

毛賀地区の活動について

支部長 吉澤忠美

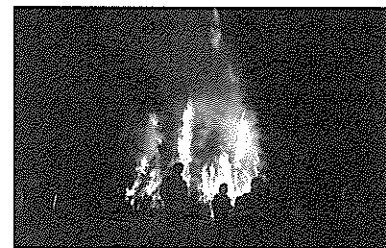
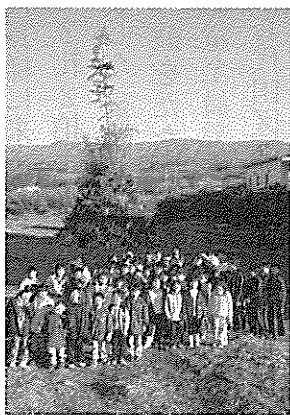
日頃から毛賀地区小学校PTA活動に御協力を頂きありがとうございます。昨年の春に支部長として色々な行事に参加させて頂き、私自身勉強になる事が沢山ありました。毛賀地区は、御神田お田植え、一年生を迎える会、度胸だめし花火大会、夏祭り、毛賀神社お祭り、桜堤防マラソン大会、焼芋大会、おやす作り、もちつき大会、新年会、おんべ、天神様、芸能祭、六年生を送る会等々あり、すべての事を書かせて頂くと、かなり長くなりますので、焼芋大会とおやす作り、もちつき大会について、書かせて頂きます。今年、新型インフルエンザが大流行し、学校も学級閉鎖となり、焼芋大会も中止するかどうか迷いましたが、延期する事を決め、単独で行事をしていまし

上溝地区

上溝おんべ・どんぶりやき

支部長 葛岡利隆

上溝では例年の七日の実施を十日に変更して行いました。準備は12/6から会場の草刈、12/3に竹取及びモチヤキ用の竹竿作り、点火用の松明作り、傘飾りの下準備、と小学生にも男女共に頑張ってもらいました。1/3におんべを立て、9日は、いよいよ前日準備です。集会所にあったおんべを大人と五、六年男子でモチヤキ会場まで運



んで立て直しました。一方、その他の大人と子供で地区内の松飾りなどを一斉に集めて、燃やせる物とそうでない物とに分別しました。だるまは底に穴を開けて、縄を通して飾り付けるのが上溝流？です。重機や機材も区内の方に貸して頂けて例年通りの立派なおんべができました。丁度通りかかった前代議士の宮下一郎氏も感心して行かれました。1/9の氏のブログに記事を書かれていますのでご覧下さい。
<http://www.n-ichiro.jp/ichilog/2010/01/09/default.aspx>
どんぶり焼き当日は、例年になく暖かい朝でした。区長や6年生が中心となって点火すると、火は瞬く間に大きくなって、参加者それぞれを乗せ、まだ暗い寒空に噴き上がっていました。



閉鎖となり、焼芋大会も中止するかどうか迷いましたが、延期する事を決め、単独で行事をしていまし

代田地区

天神様

支部長 山崎博之

代田地区では、毎年一月の中旬に天神様という行事を行います。今年は一十七日に行いました。朝、松尾城址に集合し、氏子総

